



日本の優れた商品・サービスを世界に発信！ 「OMOTENASHI Selection2019」受賞対象が発表

「OMOTENASHI Selection2019」受賞発表イベント

- 期日：12月2日(月)
- 場所：八芳園3階 CHAT
- 主催：OMOTENASHI NIPPON実行委員会
- 内容：「OMOTENASHI Selection2019」受賞者の発表、受賞対象の展示 等

■八芳園で受賞発表イベントが盛大に開催！

12月2日(月)に、東京都港区白金台にある八芳園にて「OMOTENASHI Selection2019」受賞発表イベントが開催されました。

「OMOTENASHI Selection」とは、「日本のおもてなしを世界のOMOTENASHIへ」を合言葉に活動しているOMOTENASHI NIPPON実行委員会が、日本の優れた商品・サービスを発掘・認定し、国内外に発信することを目的として行っている取り組みです。この取り組みには、全日空商事株式会社や日本郵便株式会社、日本通運株式会社など多くの企業がオフィシャルパートナーとして参加し、受賞商品・サービスの認知拡大や販路拡大に向けた支援を行っています。

審査では、一次選考として書類選定が行われた後、二次選考として外国人選定員による評価と日本人専門家によるクオリティチェックが行われるといった2段階となっています。5回目の開催となる今年については、金賞28対象、特別賞7対象を含む103対象の商品・サービスが受賞対象となりました。

受賞発表イベントでは、スペシャルプレゼンターとして俳優の別所哲也氏が登壇した他、約50万人のフォロワーを持つ在日中国人トップインフルエンサーのリンピンザイリーベン氏や1970年に創刊された日本で最も歴史のある英字ライフスタイル誌「Tokyo Weekender」編集長のアンマリー・ラック氏などが登壇し、受賞者に表彰状が手渡されました。



金賞受賞商品の展示

■本県からは「天狗印枝豆」が 金賞を受賞！

本県からは、沼田市にある有限会社塩野商店(社長:塩野昌彦氏)が取り扱う「天狗印枝豆」が初出品され、金賞を受賞しました。

「天狗印枝豆」は、群馬県北部の沼田市とその周辺町村で、約120軒の契約農家により、昼夜の寒暖差の大きい中山間地の気候を活かしながら有機質肥料を主体とした栽培体系で生産されています。また、栽培方法へのこだわりだけでなく、全生産者に冷蔵庫と冷凍ストッカーを導入することで鮮度管理を徹底するとともに、品質検査による製品の均一化、自主評価基準値を設けた糖度分析による食味の向上などの取り組みが行われ、常に品質の向上に向けた工夫が行われています。現在は、「神緑」と「味緑」の2商品が展開されており、その品質の高さから市場でも高い評価を得ています。

今回の審査では、これらの「栽培や品質管理を徹底している」ことが評価され、金賞の獲得となりました。なお、お米以外の農産物での金賞受賞は、今回の「天狗印枝豆」が初とのこと。

受賞発表イベントに出席した塩野社長は、「当社の取り組みやこだわりが評価されてうれしい」と受賞を喜びながら「今回の受賞を活かして、今後は海外やインバウンド向けの販路拡大に務めていきたい」と述べていました。



別所哲也氏による表彰状授与
(塩野商店 塩野社長)



金賞を受賞した「天狗印枝豆」